



## Specsavers

### ケーススタディ

世界中に店舗を展開している眼鏡チェーン店 Specsavers は、急成長するビジネスニーズを考慮しながら、早急にリモートアクセスネットワークのセキュリティを確保する必要がありました。「セーフネット認証サービス」は、その目的に適切なソリューションであることが証明されました。

#### 組織

1984年に英国の2店舗から始まった Specsavers は、今ではヨーロッパとオーストラリアに1,300を超える支店と26,000人のスタッフを抱えています。同社は高い信頼性と価値により確固たる評価を得ており、共同事業によるアプローチで成長を続けています。

#### 利益

700ユーザーから成る初期グループに「セーフネット認証サービス」を導入したところ、Specsavers のすべてのセキュリティソリューション要件が満たされただけでなく、要件を超える結果までもたらされました。



Authentication SERVICE

#### ビジネスニーズ：セキュリティの最適化

市場機会に迅速に対応することで評判の高い Specsavers は、リスクに直面した時にも素早く行動でき、急成長するビジネスの国際展開に影響を及ぼす恐れのある潜在的なセキュリティ問題も把握しています。Specsavers では現在、数百人ものリモートユーザーが日常的に電子メール、Web アプリケーション、金融アプリケーションなどの様々な中央リソースにアクセスしており、そのデータのセキュリティを確保するためにはデータをどのように保護するか戦略が必要であると同社は認識しています。

#### 拡張性、柔軟性、簡便性

ここ10年での劇的な成長にともないスタッフの数も増え続け、セキュアなりモートアクセスの必要性がますます高まりました。そのため Specsavers は、次のようなリモートアクセスを探していました。

- 拡張性があり、将来にわたってスタッフの増加に対応が可能であること
- ユーザーの多様な業務と技術的能力に十分に適合できる柔軟性を持つこと
- 管理が簡単であること
- より少ない実装コスト、デプロイメント要件、継続的なリソース要件

## ソリューション

Specsavers は、内部アプリケーションとデータベースへのリモートアクセスを保護するために、SafeNet Authentication Service「セーフネット認証サービス」を採用することに決めました。

「セーフネット認証サービス」の採用により、Specsavers は独自の階層構造のユーザーグループを通じて、オンデマンドで世界中のユーザーに認証トークンを配布できるようになりました。また「セーフネット認証サービス」管理ポータル内に各地域を表すグループを作成することで、Specsavers の本店は、各グループの管理を地域の管理者に委任することが可能になりました。

Specsavers は、様々なエンドユーザーのニーズを満たすために、ハード、ソフト、SMS のトークン形式の併用を選択しました。トークンと固有の PIN コードとの組み合わせにより、文字、数字、記号を含むことのできるワンタイムパスワード (OTP) を提供し、市場で最もセキュアな OTP を実現しています。ユーザーは、Specsavers のリモートゲートウェイに正しい PIN と OTP を入力すると、安全に認証され、サーバへのアクセスを許可されます。「セーフネット認証サービス」の導入によって、モバイルユーザーやリモートユーザーは同社のリソースとアプリケーションに、安全かつ容易に接続できるようになりました。

## 拡張性と権限付与

Specsavers の短期的目標は、まず米国とアイルランドの支店スタッフに、そして最終的には世界中に二要素認証の使用を拡大することです。

この目標を達成するための重要な要素は、階層構造のユーザーグループ管理機能です。これにより、必要に応じて即座にトークンの割り当てや取り消しを行う権限が現地の支店に与えられるので、Specsavers の中央 IT 部門の負担が軽減されます。「セーフネット認証サービス」は、このレベルの機能性を備えた唯一のベンダーです。Specsavers にとってこれは、各地で異なるサーバを購入し管理する必要がなくなり、1つのグローバルなサービスを持つことによる規模の経済性からも利益が得られることを意味します。

「弊社は 2 年以上にわたってセーフネット認証サービスを使用していますが、いまだに 1 つのトークンもバッテリーも交換していません。信頼できる長寿命のトークンを使うことが、コストとリソースの節約につながることは明らかです。弊社は、すでにこうした利益を享受しています」

Specsavers の IT セキュリティマネージャー、Angus Dorey 氏

## トークンの寿命

Specsavers は、ハード、ソフト、SMS のトークンを併用しています。ソフトウェアトークンは、単一のデスクトップまたはラップトップにアクセスするユーザーに最適です。BlackBerry トークンは、持ち運びが必要なユーザーに提供されています。ハードウェアトークンを好むユーザーには、キーホルダー型のトークンが提供されています。

ソフトウェアトークンと SMS トークンはトークンコストを大幅に削減します。また、キーホルダー型のトークンは 5 年保証付きで有効期限がなく、万が一バッテリーが切れたとしてもユーザーは容易に交換できます。以前は、Specsavers はハードウェアトークンを問題のあるものだと考えていました。なぜなら、それが 3 年以内に有効期限が終了する信頼できないトークンだったからです。

## TCO の削減

Specsavers は、ソフトウェアコンポーネントとアプリケーションの利用料金が含まれる「セーフネット認証サービス」の年間サブスクリプション契約に基づく料金体系に満足しています。この年間利用料金サブスクリプションモデルにより、同社はソフトウェアとハードウェアへの先行投資にかかる労力とコストを排除することができました。また「セーフネット認証サービス」は、実装と継続的サポートに付いて回るコストと複雑性も排除するので、Specsavers の IT スタッフがより収益性の高い活動に集中できるようになりました。Specsavers の IT セキュリティマネージャーである Angus Dorey 氏は次のように確信しています。「弊社は 2 年以上にわたってセーフネット認証サービスを使用していますが、いまだに 1 つのトークンもバッテリーも交換していません。信頼できる長寿命のトークンを使うことが、コストとリソースの節約につながることは明らかです。弊社は、すでにこうした利益を享受しています」。

## 将来

最終的には、変化し続ける医療要件と規制に従いながら、Specsavers のスタッフが機密を要する患者データにリモートアクセスできるようになることを目指しています。そうした機密を要するデータへのリモートアクセスを提供するためには、PCI コンプライアンス要件に従う必要がありますが、Specsavers は「セーフネット認証サービス」の二要素認証がそれを満たすと知っているため、目標を達成できると自信を持っています。

『「セーフネット認証サービス」』は Specsavers にいくつもの利益をもたらしました。階層構造のユーザーグループ管理機能によって、グローバルに二要素認証を実装して運営し、さらに管理を委任することが可能になりました。トークンは結果的に安くなり、この技術は市場で最高レベルのセキュリティを提供してくれています。支店やエンドユーザーからも非常に好意的な反応が寄せられています」

Specsavers の IT セキュリティマネージャー、Angus Dorey 氏

## 「セーフネット認証サービス」について

「セーフネット認証サービス」は、完全な自動化と、組織の固有のニーズに合わせてカスタマイズできる柔軟なトークンオプションを備えた、高セキュアな AaaS (Authentication as a Service「認証・アズ・ア・サービス」) を提供し、TCO を大幅に削減します。

「セーフネット認証サービス」の柔軟性と拡張性、ワークフローの自動化、ベンダーにとらわれないトークン統合、そして幅広い API によって、強力な認証が簡単に手に入ります。また、管理機能とプロセスは完全に自動化され、カスタマイズも可能であり、シームレスで快適なユーザー体験を実現します。

「セーフネット認証サービス」はインフラが不要であるため、複数階層、マルチテナントのクラウド環境に簡単に移行でき、クラウドベースおよびオンプレミスのアプリケーションから、ネットワーク、ユーザー、デバイスに至るすべてを保護します。



Authentication SERVICE



THE  
DATA  
PROTECTION  
COMPANY

## 日本セーフネット株式会社

データプロテクション事業部  
東京都港区新橋 6-17-17 御成門センタービル 8F  
Tel: 03-5776-2751  
Email: jp-info@safenet-inc.com

記載されている会社名、製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。カタログに掲載されている内容は、予告なく変更される場合があります。  
©2013 SafeNet, Inc. All rights reserved. SafeNet and SafeNet logo are registered trademarks of SafeNet. All other product names are trademarks of their respective owners.